

## 明日香村における歴史的風土について (歴史的風土審議会における整理)

明日香村では昭和42年12月に「歴史的風土保存区域」として391haが指定されて以後、昭和55年12月に第1種及び第2種歴史的風土保存地区の指定告示を経て現在に至っているが、昭和54年7月5日の第21回歴史的風土審議会では、歴史的風土ならびに保存すべき風土について次のように整理されている。

### 【第21回 歴史的風土審議会】(昭和54年7月5日)

明日香村は、わが国上代の都が定められたほか、飛鳥文化の中心地であると同時に律令国家の体制がはじめて形成された地域であり、村内の枢要な地域に当時の宮跡、寺跡、古墳や記紀、万葉集に登場する飛鳥川などの由緒地等我が国にとって重要な歴史的文化的遺産が数多く存在し、それが古都としての伝統と文化を具現し、及び形成している。

これらの歴史的文化的遺産の周囲は田、畑、樹園地、山林、河川等や落ち着いたたたずまいの家並みおよびそこに住む住民の農業を中心とする日常生活活動等の自然的、人文的環境を形成しており、当該歴史的文化的遺産と一体となって、その伝統と文化の具現及び形成を助長しているものである。

これらの歴史的風土は、村内の広範な地域にまたがって存在し、飛鳥文化の中心地であると同時に我が国古代律令国家の体制が初めて形成された土地であることを偲ばせるよすがとなる特色ある景観を呈している。この点において明日香村における歴史的風土は他に類をみないものであり、明日香村全域にわたって、この歴史的風土の保存上枢要な部分を構成しているものである。

そして、この歴史的風土の存する土地の区域は、歴史的文化的遺産が存する土地およびこれに接続し古都としての伝統と文化の具現及び形成上密接不可分となっている土地の区域とさらにその外周にあってその歴史的風土の保存上重要な要素を構成している土地の区域の二つに分けられる。したがって、明日香村における保存すべき歴史的風土は、現状凍結的な状態で保存すべきものと、その後背地的な性格を持ち現況凍結的な状態で保存するほどに至らないまでも前者の歴史的風土の形成を阻害するものを排除すべきものとの二種類に分類できよう。

このように、昭和55年における第1種及び第2種の区域指定以降、明日香村における歴史的風土は「歴史的文化的遺産が存する土地およびこれに接続し古都としての伝統と文化の具現及び形成上不可分となっている土地の区域」と前者の「外周にあってその歴史的風土の保存上重要な要素を構成している土地の区域」に区分されることとなり、それぞれの区域に応じて、保存のための施策を講ずることとされている。

「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等を今後一層進めるための方策はいかにあるべきか」に対する平成11年3月25日の歴史的風土審議会答申では、次のとおり整理されている。

【歴史的風土審議会答申（抄）】（平成11年3月25日）

1. 明日香村及び明日香村の歴史的風土の位置づけについて

1 日本のあるべき姿としての明日香村

明日香村の歴史的風土は国民共有の財産であり、その保存を図ることが今後とも国家的見地から重要な課題である。この豊かさやアイデンティティの探究など精神的な支柱の模索が続く時代に、日本のあるべき姿として、歴史教育の実践の場として、明日香村の歴史的風土の保存を図っていくことがより一層重要である。

2 アジアの中での明日香村の歴史的風土

明日香村は、我が国の律令国家体制がアジア周辺諸国との関係の中で形成されてきた時代の中心地であり、その歴史的風土の中心となる歴史的文化的遺産は、我が国のみならずアジア全体の当時の歴史にも関連が深く、また歴史的文化的遺産を保存する取り組みが近年国際社会においても益々活発化してきている中で、今後とも明日香村の歴史的風土の保存を図っていくことが必要である。

3 村民が暮らす場としての明日香村

明日香村は歴史的文化的遺産が眠る場であるのみならず、現代においてもそこに多くの人々が暮らし生活を営む場であり、そこに暮らし生活を営む人々が、貴重な歴史的風土を有する地域に誇りと自覚をもって、生き生きと暮らせることが歴史的風土の保存上も重要である。

2. 守られるべき明日香村の歴史的風土について

1 明日香村の歴史的風土について

将来にわたり守られるべき明日香村の歴史的風土とは、村の全域にわたり数多く存在する歴史的文化的遺産及びこれらと周囲の自然的人文的環境が一体をなして形成している総体である。

2 明日香村の歴史的文化的遺産について

明日香村の歴史的風土については、現時点で明らかにされている「見える」歴史的文化的遺産のみならず、その周囲の自然的人文的環境の中に眠る「いまは見えない」潜在的な遺産の存在により今後その価値が一層高まり得るものと考えられる。

3 自然的人文的環境について

明日香村の歴史的風土は、歴史的文化的遺産及びこれらと一体をなしている森林、河川等の自然的環境とともに、日本の原風景ともいえる棚田等の田園景観、さらには檜前、飛鳥等をはじめとする優れた景観を有する集落等の人文的景観が歴史的風土の重要な構成要素となっている。

これらの自然的人文的環境は、生活様式や産業構造等の変化により変質するものであるが、そこで営まれる行為が継続的に行われ、各地域のコミュニティが維持されることによって始めて良好に保たれるものであることにかんがみれば、明日香村における歴史的風土の保存のためには、そこで暮らし生活を営む住民の生活の安定向上、地域産業の振興さらには地域の活性化という視点も、その一環として考えるべきである。